



生涯学習

No.515

かおり高い 文化のまち

地域で育つ子どもたちに学ぶ

教育長 松崎 泉



毎朝、小学校へ登校する子どもたちとすれ違うとき「おはようございます」と挨拶してくれる子どもたちに一日のエネルギ―をもらっています。参観日などの折には、廊下ですれ違う小中学生から元気な「こんにちは」の声に励まされています。町中に挨拶の輪が広がり、定着してきていることを嬉しく思う今日この頃です。

先日、「下諏訪散策が一層思い出深くなったこと」と題し、都会の観光客の方からのメールが届きました。内容の一部を紹介させていただきます。

とても嬉しかったのでメールいたします。信州には結構足を運んでいます。下諏訪はいつも通り過ぎるばかり。…今回は思い切って寄ってみました。諏訪大社秋宮を参拝し、儀象堂、岩波本陣、…レトロな街並みを散策。あちこち湧き出ている温泉が、冷たくなった手をほどよく温めてくれます。

「万治の石仏は欠かせない」とぶらぶら歩き出した途中、結構急な石段を登り始めたときでした。上から小学校一・二年生でしょうか。女の子が降りてきます。と、すれ違う直前、頭を下げて「こんにちは！」の声。びっくりした私は「こ、こんにちは」と少しぎこちなく挨拶を返しました。

都会では知らない人には声を

かけないのものは常識で、それもいろいろな事件が起きている現状をみれば致し方ないように思えます。が、思いがけず挨拶された私は何か温かいものがこみ上げてきて、その後の散策が一層楽しいものになりました。これが本当なんですよ。挨拶がためらわれるような社会が普通ではないことを、下諏訪のお子さんに改めて気づかされました。

ありがとうございます。いい街ですね、下諏訪。また伺います。(N・T様)

昨年は、御柱祭を通し、木遣りや長持ち、花笠踊りなど、子どもたちの活躍の場がたくさんありました。また、各区の諸行事の中で、各中学校区のコミュニケーションスクールの中で…、子どもへの参画について、企画から運営まで任せていただくなど、地域ぐるみで子どもを育てようと、

様々な工夫が報告されました。老若男女問わずコミュニケーションを大切にされていることは、町民一人ひとりが、かけがえない存在であることを皆で認め合っていくことにつながります。このことが、いじめや差別等の根絶に向け、未来の下諏訪町づくり・人づくりに発展していくのだと思います。

仕事始め式では青木町長から「特色を生かしながら更に素晴らしい町にしていきたい。今年」の文字は『発』とし、いろいろなことを発信し、発展させていく一年にしたい」とお話がありました。子どもの育ち・子どもから学んだことを機会あるごとに発信し、子どもの主体的な取り組みが皆様の温かいご支援により、更に発展していくよう心より祈っています。

ご入園、ご入学、ご進学、ご就職おめでとうございます。今年も素敵な一年にしましょう。



4月、新たな気持ちで

学び続ける教員に



西豊 三澤 百合香

この春、大学生というやりた
いことをやり続けたフィールド
を卒業し、私はいよいよ社会人
となります。たくさんの方を
学んだ下諏訪町を離れ、一人暮
らしをしていた生活もあつとい
う間に終わってしまいました。
四年間の東京での暮らしはとて
も有意義なもので、充実してい
る毎日でした。大学入学当初は、
自分の将来への考えの甘さが志
の高い友達の中で浮き彫りにな
っており、不安や焦りを感じる
こともありました。そんな時、
中学生の頃から興味があったカ
ンボジアへ行ったことが私を変
えるきっかけとなりました。
私は、中学生の頃、「カンボ

ジアに行きたい」という夢を持
ちました。当時テレビで見たカ
ンボジアの現状が衝撃的で、
「かわいそう」と思う一方で
「自分の目で見てみたい」とい
う思いも生まれました。そして
その夢は、大学の海外ボランテ
ィアサークルに所属し叶えるこ
とができました。同じ志を持つ
仲間との二度にわたるカンボジ
ア行きは、とても楽しく、刺激
的な体験でした。
カンボジアには学校へ行くこ
とのできない子どもたちが今も
います。その子どもたちのため
に仲間とアイデアを出し合い、音
楽や体育、日本語の授業を実際
に行いました。厳しい環境の中

にいる子どもたちですが、勉強
をすることの楽しさに溢れ、き
らきとした笑顔や無邪気な姿は
今でも忘れられません。私は、
そんな子どもたちを見て、教え
ることの楽しさを知り、もつと
いろいろなことを教えたいと思
うようになりました。この国境
を越えた経験が教員になりたい
と強く願うきっかけと
なりました。
私は自分を育ててく
れた長野県で教員をし
ます。私がたくさんの方
のことを学び、経験した
この地で、未来を担う
子どもたちを育ててい
きます。教員になりた
いという夢を叶えた今
はゴールではなく、新
たなスタートです。大
学で行ったインターン
シップや教育実習、ボ
ランティア等は何れも
勉強になり、大学生活
をより豊かに、そして
自分自身が成長できる
経験となりました。
それらがあつて今の

私がいいますが、教員になつても
常に子どもたちのことを考え、
子どもたちから学び、子どもた
ちと共に成長する。そんな「学
び続ける教員」になりたいと思
っています。そして、カンボジ
アで見た子どもたちのきらきら
した笑顔を目指し、日々子ども
と過ごしていきたいです。





4月、新たな気持ちで

中学生になったら



下諏訪北小学校

小松

洋輝 ひろき

ぼくは、中学校に入学してがんばりたい事が二つあります。一つ目は、勉強です。中学生になると、英語の授業が増えます。だから、一つ一つの単語を漢字のように覚えていきたいです。算数も数学に変わり、勉強の量も増えるし難しくなってくるので、一生けん命勉強したいです。また、定期的にテストがあるので、できるだけ良い点がとれるように予習や復習をして、授業に集中して取り組みたいです。

二つ目は体操です。何か部活に入りがんばってみるのもいいですが、ぼくは小学校一年生から続けてきた体操を部活代わりにがんばりたいと思います。体操には小学生のお友達もたくさんいるので、その人たちの見本になれるよう集中して練習し、ある程度良い結果が残せるよう諦めずに努力していきたいです。また、下の人たちのめんどうもすっかりみたいです。

この二つのことをぼくはがんばりたいと思います。中学校生活は三年と短いので、たいへんな時もつらい時もそれを乗り越えられる強い心をもって、楽しい中学校生活を送りたいです。

(現在は中学一年生)

中学で実行したいこと



下諏訪南小学校

飯塚

千結季 ちゆき

私は、中学生になってがんばりたい事が三つあります。一つ目は、英語です。小学校では、身近にあるものを英語で言ったり、班の人と協力して名前を当てたりするのが好きでした。中学校になると、英語の読み書きが本格的になります。小学校で習った英語の単語やアルファベットの形を忘れないようにし、周りの友達に置いていかれないように努力したいです。

二つ目は、体育です。苦手な教科の一つで、マット運動できちんと回れない時や、水泳で二十五メートル泳げなかった時には、途中であきらめてしまう事がありました。運動を好きになれるよう、体育から逃げずに取り組みたいです。

そして、三つ目は、読書です。自分としては、まだ読書量が少なかつたと思います。今まではフィクションの本を多く読んでいましたが、これからは歴史やノンフィクションのジャンルにも興味を持って読み、読解力をもっと身につけていきたいです。また、積極的に図書館に通ったり、時間を作って本を読んだりしたいです。

この三つの事を中心に、中学生としてがんばり方を工夫して生活していこうと思います。

(現在は中学一年生)



4月、新たな気持ちで

新生活に向けて



下諏訪向陽高校

樋口

蓮^{れん}

高校生活を過ごしてきた中で、たくさんのかを学ぶことができました。その中で私がこれからも大切にしていきたいと思っっていることがあります。

それは、「なにをするにも周りの人の支えがあり、周りの人が携^{たず}わってくれていることを忘れない」ということです。

私は三年生の時、文化祭実行委員長という立場で文化祭に関わりました。活動を進めていく中で私一人ではできないことがたくさんありました。何かを準備するのはもちろんですが、私が計画したことを周りの人に依頼し作業を進めてもらう中で、たくさんの方がその作業を担ってくれました。それには生徒だけでなく先生方や地域の方々の協力もありました。文化祭が無事に終わることができたのも、周囲の人の支えがあったからこそだと思います。このように今までたくさんの方に支えられ、私は高校生活を送ることができました。

私は春から地元で就職し、社会人になります。社会人になると、背負う責任の大きさが学生とは違ってくると思います。私が任せられる仕事の裏には多くの人の努力が隠れていると思います。だからこそ精一杯、取り組みたいです。春から働くときには、そこに関わっている一人ひとりに思いをいたし、行動に自覚と責任を持ち、立派な社会人となっていきたいです。

(平成二十八年度卒業生)

高校生活を振り返って



下諏訪向陽高校

西郷

のの

私が高校に入学してから早くも三年が経とうとしています。今までは先輩たちを見送っていた私たちですが、今度は自分たちが見送られる立場になり、時の流れの速さを感じます。向陽高校での学校生活は様々な経験をし、周りの友達や先生など学校の環境から多くの刺激をもらい、自分自身を高めることができた三年間だったと感じています。

私の中で一番大きな出来事は、副会長として生徒会の活動を頑張ったことができたことです。大きなプレッシャーではありましたが、「学校の代表として恥ずかしくない行動をする」ということを常に心がけることができました。大変なこともたくさんありましたが、仲間と協力して最後までやり遂げることができて良かったです。このことを含め、本当に充実した生活を三年間送れました。

私はこの春から看護の専門学校に通います。高校生活以上に大変なことは本当にたくさんあると思います。周りについて行けるのか、私に最後までやり遂げることができるのか、不安なことはたくさんあります。でも、新しい仲間と競い合い、協力し合って自分を信じて努力したいと思っています。また、親や先生方など、周りの支えがあることを忘れずに励んでいきたいです。患者さん本位の看護師になれるよう、いつでも笑顔忘れずに、思いやりの心を持って、夢に向かって日々頑張っていきたいです。

(平成二十八年度卒業生)

知ってるズラ？ すわズラ～！

諏訪地域公共図書館情報ネットワーク（すわズラ～）とは？

諏訪地方の6市町村の図書館で作った利用カードでどこでも本を借りたり返したり、本を探したりできるシステムです。家に近い図書館に読みたい本が置いてなくても、他の図書館にあれば、すぐに取り寄せて借りることができます。また、自宅のパソコンなどから本を探して予約することもできます。

4月から新しくなった図書館システムの内容

- 本の返却期限を延ばしたいとき、ご自分のパソコン・スマホから延ばすことができます。（予約が入っていないもののみ、1回限り）
- 複数の館で同じ本を持っている場合、その本を予約すると一番早く帰ってきた本があなたの手元に届きます。
- 他の図書館の本でも受け取った図書館で返却処理をするとその場で返却完了になります。
- 障がい者用録音図書が探しやすくなります。



スマホ画面

便利になった図書館では、こんなこともしています。

- 本のほかにもCD・DVD・ビデオなどいろいろな資料が借りられます。
- いろいろな行事がもりだくさん！
図書館まつり・クリスマス会・映画会・一日図書館司書・講演会・
工作会・こわーいおはなし会・おはなしのへや・おはなしのへやプ
チ など
- 町内一斉家庭読書の日
- インターネット環境も整っています
- 障がい者用録音図書の貸し出し



図書館の利用はすべて無料です。（コピーサービス等一部有料サービスあり）

図書館は町民みなさんの本棚です。お気軽にご利用ください。

日本の音風景100選

「シュレーゲルアオガエルの声を聞きに行こう!」

日時：5月13日（土） 9：00～14：00

対象：町内在住、在勤の方

講師：八島湿原インタープリター

定員：30名

受講料：300円（保険料、記念品）

持ち物：歩きやすい靴、帽子、雨具、昼食（必要な方）

申込方法：下諏訪町公民館（下諏訪総合文化センター内での申込み）
または電話での仮予約（土日祝日を除く）

受付開始：4月11日（火）9：00から

締め切り：5月2日（火）まで

※初日から電話での仮予約が可能です。定員になり次第締め切ります。

昼食は食事処でもご利用いただけます。荒天の場合は中止となります。

問合せ・申込み 下諏訪町公民館 0266-28-0002

お詫びと訂正

クローズアップしמושわ三月号十三ページ、第十区分館長のお名前を、伊藤晃様とすべきところ、編集の手違いで前年度の分館長のお名前を掲載してしまいました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

原勝 ↓ 伊藤 晃

OPEN

諏訪の四月は一気に春が来る。梅や桜、スイセンやチューリップ、そして芝桜が咲く。四月の庭は赤やピンクや白や黄色等々と色鮮やかである。寂しかった田畑にも農作業をする人の姿が多くなり、畑はネギやエンドウなどいろいろな作物の苗で賑やかになってくる。

春の諏訪湖も素晴らしい。一周十六キロメートルをのんびり歩くと、湖面がキラキラと光り、桜をはじめとした花が歩道の脇や家庭の庭に咲き、遠くには雪を頂く富士山や八ヶ岳が青空にくっきりと映える。閉じこもりがちだった心も身体も自然と屋外に誘われる。

また、四月は新しいスタートの月でもある。保育園や幼稚園では新入園児を、学校では新入生を、会社では新入社員を迎える。そして皆一年先輩になる。皆がいきいきと、会う人の顔が心なしか明るく輝いて見える。

新しい出発をする皆さんには、じっくり力を蓄える時期があつてこそ美しい花の咲き誇る春が来ることを信じ、一步一步歩んで欲しいと思う。

今年の四月もいろいろな思いを感じながら諏訪の春を満喫したい。

（久保田利広）